



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2006.01.24

No. 29 - 26

発行: 日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan

幹事会

〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770


FAX.03-5705-3274

E-mail: office@alpajapan.org

RA の労働条件向上なくして、私たちの前進はない！

航空経営は、劣悪な労働条件を RA: Regional Aviation(地域航空)に押し付け、更なる利潤追求をしております。日乗連としては、この問題は、RA だけにとどまらず、全体的な問題と捉えております。皆様にその詳細をニュースでお伝えしていくことにより運動の前進に貢献することの観点からシリーズで報告していきます。

シリーズ : ジェイエア乗員組合

| | |
|---------------|--|
| 路線 | 小牧 とかち帯広、秋田、山形、新潟、高知、松山、熊本、長崎 伊丹 福島、札幌、山形、花巻、 札幌 山形、福岡 札幌、松山 |
| 機材 | CRJ200/  ボンバルディア CRJ200 8 機 |
| 組合員数 | 機長: 10 名 副操縦士: 24 名 |
| 最大の 問題点 | 人員数と構成 在籍操縦士61名(他に訓練中にOB5名、FO要員7名) 機長の構成はプロパー機長14名(管理職4名)に対してOB機長15名、JALIからの出向者が6名(役員3名、査察3名)です。FOは26名(昇格訓練中の者3名)です。 人員構成わかるようにOB機長に頼った勤務割になっています。 1月現在7機を路線に投入していますが、FOの人員が不足していることと、OB機長の身体的理由で3名が乗務できないこともあり待機要員確保が困難な状況です。 月間平均飛行日数も機長16日、FO17日で、予定飛行時間でも平均70~75時間となっています。この状態が現在訓練中のFOが任用される7月中旬から8月中旬まで続くことが予想され、今後もOB機長を含めた乗員の疲労の蓄積が懸念されます。 賃金 規模の拡大を模索する経営は、乗員の確保が困難な最近の状況から、採用競争力を上げるため乗員の時間単価引き上げを漸く提案してきました。業界の現状賃金には程遠い提案ですが乗員にとってよい傾向と考えています。またその他、今まで組合が要求していた賃金以外でも改正の動きがあります。 |
| 過酷な勤務の一例 | 2泊3日 1日休み 2泊3日の7日間! 1日目 S/U06:50 小牧 松山 小牧 帯広 小牧 松山(15:55) 2日目 S/U15:45 松山 福岡 千歳(19:50) 3日目 S/U08:00 千歳 福岡 松山 小牧(13:55) 4日目 休日 5日目 S/U06:25 小牧 長崎 小牧 山形 千歳(13:25) 6日目 S/U08:40 千歳 伊丹 山形 伊丹(14:00) 7日目 S/U06:50 山形 伊丹 福島 伊丹(14:05)新幹線名古屋移動 合計飛行時間27時間55分、勤務時間43時間10分(移動分含む) |
| 日乗連メンバーへのひとこと | 忙しいことを理由に幹事会に参加できなくて申し訳ないです。 |

